

会員便り

日本最北での「全国ホタル研究大会」を終えて

本年7月20日から22日の3日間、日本の最北・北海道稚内市と豊富町で第51回全国ホタル研究会稚内・豊富大会を開催しました。全国各地から100名を超える会員を中心とした皆様に遠路ご参加いただき大過なく終了させていただきました。

本大会はホタルをとおして美しい自然を守り子供たちに引き継ぎたいとの思いで活動している「ホタルの住む故郷を造る会」が中心となって取り組みましたが、この会を牽引してきたのが数十年にわたって病をおして活動してきた前会長の平沼道弘さんでした。残念ながら楽しみにしていた大会を前に昨年4月に逝去されました。私たち仲間は平沼さんの遺志を受け継いで大会成功を目標に努力してきました。



「昔はこの地にもホタルが飛び交っていたが近年は見なくなった」という声と日本最北という厳しい環境の中で不安ではありましたが挑戦しました。

ホタルの飼育をとおして生態や環境を学び、何より子どもたちに感動を与えたいという気持ちと、子供は学校・家庭・地域で育てるという子育て運動を基盤に、子どもたちの自然環境を守り育てる素直な気持ちを地元の発表として大会を組み立てました。

北海道内では栗山町のホタルの住む里山づくりの努力を発表していただきました。故郷を愛して大切な環境を考える気持ちが伝わったと思います。



ホタル観賞会では生息数は少ないですが健気にささやかに、それでも力強く生き抜いている最北のホタルの輝きを見ていただくことができました。

研究協議では「地道な活動を支えることと次世代につなげていくことの難しさ」「ホタルとまちづくりの課題」「ホタルの繁殖と棲みやすい環境の問題」などが提言されました。

これらの課題は今後長年の問題であり、次回の第52回久米島大会に引き継がれると思います。

最後に、懇親会では全国の仲間たちと交流・親睦を深めることができました。関係者の皆様に感謝を申し上げ、久米島で再会できることを願います。





第51回全国ホテル研究会大会報告

1. 研究大会の概要

(1) 概要

全国ホテル研究会の第51回大会が平成30年7月20～22日の3日間、北海道稚内市と豊富町にて開催されました。道内では平成9年の第30回恵庭大会以来の開催で、全国各地から102名のご参加をいただき、盛大に開催されました。永らく北海道地区の理事を務められた（故）平沼道弘氏の意思が継承された素晴らしい大会でした。

主催：全国ホテル研究会

主管：第51回全国ホテル研究会北海道稚内・豊富大会実行委員会

【構成団体及び機関】

稚内市 豊富町 ホテルの住む故郷を造る会

稚内市教育委員会 豊富町教育委員会

共催：稚内市教育委員会

後援：環境省 北海道 稚内市議会 豊富町議会 稚内商工会議所 稚内観光協会

稚内市校長会 稚内市公立学校教頭会 豊富町校長会 豊富町公立学校教頭会

稚内観光物産協会 稚内料理飲食店組合 稚内農業協同組合 稚内ホテル旅館業組合

読売新聞北海道支社 毎日新聞北海道支社 北海道新聞稚内支局

宗谷新聞社 稚内プレス社 エフエムわっかない

7月20日（金）

15時より稚内総合文化センターにて受付が始まり、16時よりオリエンテーション、16時30分より豊富会場に移動しました。豊富会場では豊富中学校吹奏楽部による歓迎の演奏がありました。開会式では大会実行委員長の阿部会長と豊富町の工藤町長より挨拶があり、地元より1題の研究発表が行われました。研究発表では日本最北のホテルが稚内市と豊富町に生息していること、一方でホテルを見たことがない地元の方がたくさんいることを知ることができました。豊富町のヘイケボタルを通して、身近な水辺や湿地帯の重要性を伝えるための様々な取組が報告されました。

19時45分より豊富町自然公園にてホテルの鑑賞会が行われました。夕方より降り続いていた雨は参加者を歓迎するかのように止みましたが、全国からの参加者には少し肌寒い気温でした。日本最北のホテルが力強く光る様子は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

7月21日（土）

第51回全国ホテル研究会北海道稚内・豊富大会が開会されました。遊磨会長の主催者挨拶、阿部会長と稚内市の工藤広市長による歓迎挨拶の後、来賓の紹介と祝辞がなされました。大会開催にあたり開催要項の表紙やポスター、チラシ、のぼり旗、バッジのデザインにご協力いただいた絵本作家の関屋敏隆氏に感謝状が贈呈されたほか、エンジェルボイスによる合唱や稚内南中学校による南中ソーランが披露されました。

大会では午前に関元団体による3題の研究発表と研究協議（パネルディスカッション）、午後に会員による5題の研究発表が行われました。

総会では第52回の開催地が沖縄県久米島町であることを確認しました。また、第53回の開催地が京都府京都市に決定されました。

交流・懇親会では稚内市で活躍する混声合唱団「フラウエンコール」による歓迎の合唱が披露され、阿部会長と遊磨会長の挨拶、吉田正人道議会議員の乾杯で交流・懇親会が開催されました。稚内海峡太鼓保存会による力強い和太鼓の演奏などが行われ、会員や地元大会関係者との親睦が深まりました。次期開催地である沖縄県久米島町に大会旗の受け渡しがあり、次期開催地を代表して久米島町の大田治雄町長の挨拶が行われました。最後は平沼氏のご親族と大会実行委員会の副実行委員長である渡邊眞氏の挨拶で交流・懇親会は終わりました。

7月22日（日）

各自地域観光を行い解散となりました。

（2）会場

北海道稚内市 稚内総合文化センター

北海道豊富町 豊富町立豊富中学校

（3）大会日程

7月20日（金）

15：00～16：00 参加者受付
16：00～16：15 オリエンテーション
16：30～17：20 豊富町へ移動
17：30～ 豊富会場 開会式

（1）開会・歓迎の挨拶

阿部 勇（北海道稚内・豊富大会実行委員長）

工藤 栄光（豊富町長）

（2）歓迎アトラクション

豊富町立豊富中学校吹奏楽部

- 18：00～18：20 【研究発表1】
①「蛍を使った教育の可能性について」
塩 立志（豊富町立豊富中学校教諭）
- 19：30～19：40 観賞会会場へ移動
- 19：45～20：30 ホタル観賞会
豊富町自然公園にてヘイケボタルの観賞

7月21日（土）

- 09：00～09：30 参加者受付（2日目からの参加者のみ）
- 09：30～10：10 第51回全国ホタル研究会北海道稚内・豊富大会
開会式
遊磨 正秀（全国ホタル研究会会長）
阿部 勇（北海道稚内・豊富大会実行委員長）
工藤 広（稚内市長）
来賓紹介・祝辞、祝電披露
感謝状・記念品の贈呈
- 10：20～11：30 【研究発表2】
②「クサンル緑の少年団の活動について」
井ノ浦 胡杏（稚内市立稚内南小学校6年生）
渡部 恒久（クサンル緑の少年団指導者（稚内市立稚内南小学校教諭））
- ③「稚内市の自然環境を考える～子どもの学習活動を通して～」
稚内市立富磯小学校 全校児童
川原 修子（稚内市立富磯小学校校長）
- ④「ハサンベツ里山づくりの20年計画」
高橋 慎（栗山町ハサンベツ里山計画実行員会 実行委員長）
- 11：40～12：30 研究協議（パネルディスカッション）
パネラー：塩 立志、渡部 恒久、川原 修子、高橋 慎、大場 信義
コーディネーター：曾我部 藤夫
- 13：00～13：30 歓迎アトラクション
(1) 合唱（エンジェルボイス）
(2) 南中ソーラン（稚内市立稚内南中学校）
- 13：40～15：15 【研究発表3】
⑤「守山市ほたるの森資料館におけるゲンジボタルの飼育状況
～成虫カップリングからふ化まで～」
並河 聰・加村 賀勇（滋賀県）

- ⑥ 「ホタルの文化昆虫学研究史 —全国ホタル研究会誌を例として—」
井口 豊（長野県）
- ⑦ 「ヘイケボタルとゲンジボタルの核型分析の試み」
高見 明宏（愛知県）
- ⑧ 「ゲンジボタル成虫発生量の年変動：降雨以外に月の明るさは影響するのか」
遊磨 正秀（滋賀県）
- ⑨ 「ヘイケボタルとその近縁種の多様性」
大場 信義（神奈川県）

16：10～17：10 第51回全国ホタル研究会総会

18：00～20：30 交流・懇親会

(1) 開会・歓迎の挨拶

阿部 勇（北海道稚内・豊富大会実行委員長）

遊磨 正秀（全国ホタル研究会会長）

吉田 正人（北海道議会議員）

(2) 歓迎アトラクション

・フラウエンコール

・稚内海峡太鼓保存会

(3) 懇親・交流会

(4) 次大会への引き継ぎ

大田 治雄（久米島町長）

(5) 閉会の挨拶

平沼氏のご親族

渡邊 眞（北海道稚内・豊富大会副実行委員長）

7月22日（日）

地域観光



研究発表



大会旗の受け渡し